

## ごあいさつ

皆さま方には、日頃より、長野銀行をお引き立ていただくとともに、温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。当行についてのご理解をより一層深めていただくとともに、2024年3月期の業績、経営内容をご紹介しますため、ここに「ディスクロージャー」を作成いたしました。お気軽にご利用いただき、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

地域経済を取り巻く環境は、昨年5月の新型コロナウイルス5類移行に伴う個人消費およびインバウンドの増加や、自動車向け半導体不足の解消による生産拡大など、長野県の主要産業ともいえる観光業と製造業の売り上げにおいて回復傾向が見られました。他方、円安を主因とした仕入れ価格やエネルギーコストの上昇に加え、全ての業種に共通する人手不足、賃上げなどコロナ禍とは異なる新しい課題も顕在化しており、お客さまのニーズや課題は多様化かつ複雑化しているものと認識しております。

このような環境下において当行は、お客さまと地域の期待に応えるべく、これまで培ってきたコンサルティング機能の発揮による本業支援・課題解決支援に加え、八十二銀行との経営統合以降は、両行での共創プロジェクトを通じたお取引先支援にも注力してまいりました。また、金融リテラシー向上セミナーやフードドライブなど、地域貢献、SDGs・ESG活動にも両行合同で取り組んでおります。

合併行においても、我々のめざす姿は何一つとして変わりありません。お客さま、地域のために何が出来たかを考え、お客さまと地域の発展に貢献すること、お客



代表取締役頭取 西澤 仁志

さまや地域の皆さまとともに新たな価値を創造し、長野県の豊かな「ミライ」をつくるため、両行の強みやノウハウを融合させた「八十二長野銀行」を作り上げてまいります。

皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年7月

## CONTENTS

|                              |    |
|------------------------------|----|
| ごあいさつ                        | 1  |
| 長野銀行のあゆみ                     | 2  |
| 合併へのカウントダウン<br>～八十二長野銀行へ向けて～ | 3  |
| 長野銀行がめざすもの                   | 5  |
| 地域密着型金融の推進                   | 6  |
| 長野銀行の概要                      | 8  |
| DATA                         | 19 |
| 自己資本の充実の状況等                  | 49 |
| 開示項目一覧                       | 66 |

## 当行の概要 (2024年3月31日現在)

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 本店所在地   | 長野県松本市渚2丁目9番38号                      |
| 創 業     | 1950年11月15日                          |
| 資 本 金   | 130億円                                |
| 拠 点     | 本支店 52か店(長野県内51)<br>出張所 1か所(長野県内1)   |
| 店舗外ATM  | 53か所                                 |
| 従 業 員 数 | 597人                                 |
| 主 要 勘 定 | 預 金 残 高 9,897億円<br>貸 出 金 残 高 6,361億円 |

# 長野銀行のあゆみ

当行は1950(昭和25)年11月、県内商工業者の資金需要に応えるため、長野県商工信用組合として設立されました。その後、相互銀行を経て普通銀行に転換するなかで、創業以来一貫して堅実・健全な経営に徹し、長野県経済の発展に尽力してまいりました。今後も「お客さまと株主の皆さまおよび従業員の幸福と繁栄のために全力を尽くします」の経営理念のもと、めざす銀行像「長野県のマザーバンク」へ向かい、役職員一丸となって地域経済の発展に貢献してまいります。

